

# コロナ 10年後は死亡率低下

新型コロナウイルス感染症は、通常の風邪を引き起こす既存の4種類のヒトコロナウイルスのように定着するまでに10年程度かかるとの試算を、米エモリー大などの研究

チームがまとめた。論文が米科学誌サイエンスに掲載された。10年後には3〜5歳ではほとんどの人が感染し、高齢にわたって感染しても重症化を防止しているが、症状は軽度で重大な問題となっていない。過去

## 米研究チーム試算

に問題化した重症急性呼吸器症候群(SARS)と中東呼吸器症候群(MERS)もコロナウイルスによる感染症だが、封じ込められるなどした。

今回、研究チームは、4種のヒトコロナウイルスと同様の特性を新型コロナウイルスも持つと仮定。若いうちに感染すると軽症で済み、再度感染しても重症化しにくいと考えた。現在、世界的に重症者が相次ぎ死者も増えているのは、高齢になってから初めて感染していることが主な要因という。

その上で新型コロナウイルスについて、1人の感染者が免疫のない人の集団で平均何人に感染させるかを「基本再生産数(R0)」や、4種のコロナウイルスのデータを加味し、将来のシナリオを試算した。その結果、R0を算出した場合、3・4〜5・1歳ではほとんどの人が感染する状況になるの10年かかると明らかになった。小児は重症度が低い。社会的な距離を保つこととワクチンは、移行・定着までは重要な対策だとしている。

研究チームは「MERSのようには小児で重症度が高ければワクチンが必要だが、新型コロナウイルスはそうではない。ただ、社会的な距離を保つこととワクチンは、移行・定着までは重要な対策だ」としている。

【渡辺 謙一】